



株式会社 ナックイメージテクノロジー  
CREATIVE 制作営業部  
2024年9月9日 T24008

# ALEXA 35

アレクサ 35 SUP 1.3.0

ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 1.3.0

リリースノート 日本語版

2024年7月1日

Document ID: D45 10006706

Release: K11458

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー

営業本部 制作営業部

〒107-0061

東京都港区北青山 2-11-3

03-3976-7901

# 目次

<b>A. 概要</b> .....	<b>2</b>
アップデートの推奨 .....	2
新機能の概要 .....	2
カメラ、ビューファインダー、レンズマウントのアップデートに関する注意点 .....	2
LBUS アクセサリーのアップデート .....	3
Camera Control Monitor CCM-1 のアップデート .....	3
Audio Extension Module AEM-1 のアップデート .....	4
LBUS アクセサリーのアップデート .....	4
Codex Compact Drive 1TB のアップデートに関する注意点 .....	4
ダウングレードに関する注意点 .....	4
互換性のあるソフトウェア .....	4
サンプルフッター .....	5
オンラインレジストレーション .....	5
<b>B. 新機能</b> .....	<b>6</b>
新収録フォーマット ProRes 3.8K 16:9 .....	6
AEM-1 で出力と再生のモニタリング .....	6
ダイナミックメタデータの改善 .....	6
WiFi の改善 .....	7
ENG スタイルレンズへのレンズユーザボタンの追加 .....	7
EBU R095 フレームライン .....	7
<b>C. バグフィックスと安定性の向上</b> .....	<b>8</b>
<b>D. 既知の問題 (ソフトウェア)</b> .....	<b>9</b>
アクセサリー .....	9
レンズ .....	9
モニタリング .....	9
再生 .....	10
リモートコントロール .....	11
アップデート .....	11
ユーザビリティ .....	11
<b>E. 既知の問題 (ハードウェア)</b> .....	<b>13</b>
<b>F. アップデート手順</b> .....	<b>14</b>
ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP) のダウンロード方法 .....	14
カメラのアップデート方法 .....	14

## A. 概要

ALEXA 35 SUP 1.3.0 では、新しい録画フォーマットや AEM-1 の新機能の追加のほか、WiFi パフォーマンス、メタデータの改善が含まれています。また、後にリリースされる SUP 2.0.0 で ALEXA 35 Live の Multicam システムをサポートできるよう、ソフトウェアアーキテクチャに変更が加えられました。なお、従来通り、バグフィックスや安定性の向上も行われています。

カメラをご利用になる前に本文書および「既知の問題」項、ユーザマニュアルをご一読いただけるよう強く推奨します。

詳しい情報は、下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.arri.com/alexa-35>

### アップデートの推奨

このリリースには、エキサイティングで便利な新機能に加え、カメラの重要なバグフィックスと安定性の向上が含まれています。すべてのオーナーにアップデートを明確に推奨します。

#### 注意：

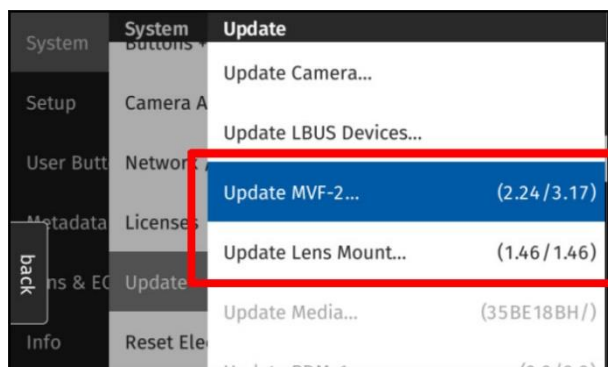
- SUP 1.3.0 では、プリレコーディングの時間が調整できないというバグが含まれています。この機能を使用して撮影する場合、SUP 1.2.3 の使用を推奨します。
- 収録ファイルに HDE を適用するには、Codex Device Manager を 7.3.1 以降にアップデートする必要があります。
- Remote Tally の設定が追加されたことで、SDI Record Flag が機能しなくなりました。この機能を使用したい場合、System > Buttons + Display > Tally で Tally を「OFF」または「ON (RECORDING)」に設定してください。これは、次のアップデートで修正される予定です。

### 新機能の概要

- 新収録フォーマット ProRes 3.8K 16:9
- AEM-1 で出力と再生のモニタリング
- ダイナミックメタデータの改善
- WiFi の改善
- ENG スタイルレンズへのレンズユーザボタンの追加
- EBU R095 フレームライン

### カメラ、ビューファインダー、レンズマウントのアップデートに関する注意点

- この SUP は、出荷済みのすべての ALEXA 35 カメラにインストールすることができます。
- 作品の撮影中に新しい SUP をインストールすることは推奨しません。
- MVF-2 および LPL マウントマウントがカメラに接続されていた場合、それらも自動的にアップデートされます。
- レンタル会社や撮影現場で、古いソフトウェアがインストールされている MVF-2 やレンズマウントがカメラに接続された場合、カメラがその旨を通知します。その場合、MENU > System > Update から MVF-2 またはレンズマウントのアップデートを行うことを推奨します。カッコ内の 1 つ目の値は現在インストールされているバージョンを、2 つ目はカメラの SUP に含まれるバージョンを表します。下図では、MVF-2 はバージョン 2.24 であり、カメラの SUP に含まれるバージョン 3.17 より古いことがわかります。アップデートを行うと、レンズマウントのように、両方の番号が同じになります。



ALEXA 35 SUP 1.3.0 には、下記のバージョンが含まれています。

- Multi Viewfinder MVF-2:	3.51
- LPL Mount:	1.55
- PL Mount (LBUS):	1.96
- PL Mount (Hirose):	1.96
- EF Mount (LBUS):	1.14
- Camera Access Protocol (CAP):	1.12
- mxr Library:	4.2.0

- アップデート中にビューファインダーがオフになり、進行状況が見えなくなる場合がありますが、その場合はサイドディスプレイを確認してください。
- アップデート中は電源の供給が途切れず、またビューファインダーケーブルを抜かないようにしてください。アップデート方法の詳細は、“F. アップデート手順”項をご覧ください。
- ウェブリモート経由でカメラ操作や SUP アップデートを行う際は、誤操作を防ぐため、ブラウザをプライベートまたはシークレットモードで使用してください。

## LBUS アクセサリーのアップデート

- 本 SUP には LBUS アクセサリーソフトウェアは含まれておりません。RIA-1、ZMU-4、cforce mini モータ、cforce Plus モータ、マスターグリップ、オペレータコントロールユニット OCU-1、LCUBE などのアクセサリーは、SUP アップデート中のカメラに接続されていても、アップデートされることはありません。
- LBUS アクセサリーをアップデートするには、ARRI ウェブサイトからダウンロードした LBUS デバイス用のアップデートファイルを USB スティックの ARRI/ECS/ にコピーし、カメラに挿入します。次に、カメラの LBUS コネクタに LBUS デバイスを接続し、カメラのメニューから MENU > System > Update > Update LBUS Devices... を選択するとアップデートが開始されます。

## Camera Control Monitor CCM-1 のアップデート

- カメラの SUP には、Camera Control Monitor CCM-1 のソフトウェアは含まれていません。アップデート中のカメラに CCM-1 が接続されていても、CCM-1 自体はアップデートされません。
- CCM-1 をアップデートするには、ARRI のウェブサイトから CCM-1 のアップデートファイルをダウンロードし、USB スティックのルートフォルダ（最上階層のフォルダ）にコピーします。その後、USB スティックを CCM-1 に接続し、Firmware > Update からアップデートファイルを選択します。このとき、CCM-1 はカメラから切断しておく必要があります。

## Audio Extension Module AEM-1 のアップデート

- Audio Extension Module AEM-1 のソフトウェアは含まれていません。アップデート中のカメラに AEM-1 が接続されていても、AEM-1 自体はアップデートされません。
- AEM-1 をアップデートするには、ARRI のウェブサイトから AEM-1 のアップデートファイルをダウンロードし、USB スティックのルートフォルダ (最上階層のフォルダ) にコピーします。その後、USB スティックを AEM-1 に接続し、MENU > SETUP > UPDATE から YES を選択し、アップデートファイルを行います。

## LBUS アクセサリーのアップデート

- 本 SUP には LBUS アクセサリーソフトウェアは含まれておりません。RIA-1、ZMU-4、cforce mini モータ、cforce Plus モータ、マスターグリップ、オペレータコントロールユニット OCU-1、LCUBE などのアクセサリーは、SUP アップデート中のカメラに接続されていても、アップデートされることはありません。
- LBUS アクセサリーをアップデートするには、ARRI ウェブサイトからダウンロードした LBUS デバイス用のアップデートファイルを USB スティックの ARRI/ECS/ にコピーし、カメラに挿入します。次に、カメラの LBUS コネクタに LBUS デバイスを接続し、カメラのメニューから MENU > System > Update > Update LBUS Devices... を選択するとアップデートが開始されます。

## Codex Compact Drive 1TB のアップデートに関する注意点

シリアルナンバーが 602#### 以下の Codex Compact Drive 1TB は、ALEXA 35 で使用する前にアップデートを行う必要があります (新しく出荷されるドライブは不要です)。ファームウェアの古いドライブがカメラに挿入されると、アップデートプロンプトが表示されます。**ドライブのアップデートは、ALEXA 35 SUP 1.2.3 でのみ可能です。**SUP 1.3.0 ではアップデートできませんが、今後の SUP で対応する予定です。

終了後もカメラはアップデートモードを維持するため、複数のドライブを続けてアップデートすることができます。通常の運用モードに戻すには、カメラを再起動します。

注：ドライブのデータはすべて非可逆的に消去されます。アップデート前にデータをバックアップしてください！

注：アップデートされた Compact Drive 1TB と新しい Compact Drive 2TB は SUP 7.1.1 の ALEXA Mini LF でサポートされます。

## ダウングレードに関する注意点

ALEXA 35 カメラを以前のバージョンにダウングレードすることは可能です。

- S/N 6849 以降の MVF-2 および S/N 273xxxxx 以降の Compact Drive 2TB は、SUP 1.0.4 以降の ALEXA 35 にのみ対応しています。
- ALEXA 35 SUP 1.X 以降はフィールドテストバージョン (0.8.X) とはセンサーキャリブレーションが異なるため、フィールドテストバージョンにはダウングレードしないでください。

## 互換性のあるソフトウェア

- AEM-1 の出力モニタリング機能を使用するには、AEM-1 が v1.1G にアップデートされている必要があります。
- SUP 1.2.3 以降の ALEXA 35 で使用する場合、Camera Control Monitor CCM-1 は SUP 5.5.2 以降にアップデートされている必要があります。SUP 5.5.1 以前の CCM-1 は、機能が大幅に制限されたり、使用できないことがあります。CCM-1 SUP 5.5.2 は ALEXA 35 SUP 1.2.0 以降に対応しています。

- カスタムカラーマネジメントを使用するには、ALF4c ファイルを作成できる ARRI Reference Tool version 1.4.0 以降が必要になります。
- ALEXA 35 で収録したファイルの編集や Look (ALF4 または ALF4c)を作成するには、ARRI Reference Tool (ART) の最新版を使用してください。ALEXA 35 SUP 1.3.0 は、ART 1.4.0 以降で問題なく動作することが確認されています。ARRIRAW Converter は、ALEXA 35 のファイルに対応していません。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/tools/arri-reference-tool>

- ALEXA 35 SUP 1.1.0 以降は、SUP 1.3 以前の Hi-5 および SUP 1.2.1 以前の RIA-1 と互換性がありません。ALEXA 35 SUP 1.2.0 以降で使用する場合、Hi-5、RIA-1 とともに SUP 2.0 以降にアップデートする必要があります。
- サードパーティソフトウェアと ALEXA 35 への対応リストは、下記の URL からご覧いただけます。すべてのソフトウェアは必ず最新版を使用してください。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/alexa-35-workflows>

## サンプルフットページ

ALEXA 35 カメラで撮影されたサンプルフットページは下記の URL からダウンロードできます。

<https://www.arri.com/en/camera-systems/cameras/alexa-35>

## オンラインレジストレーション

オンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。また、ARRI ALEXA 35 のご購入後 1 ヶ月以内にご登録いただければ、1 年間の延長保証が無料で受けられます。

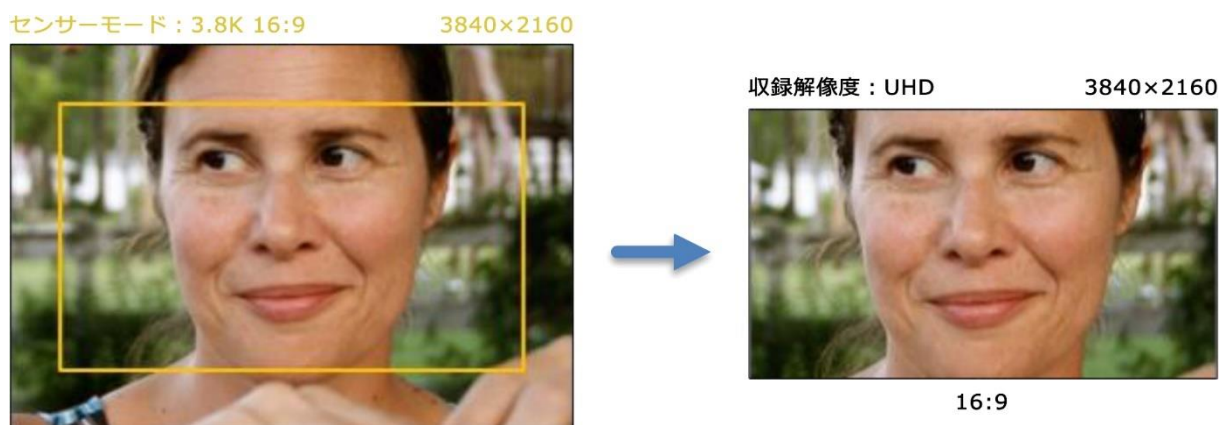
<https://www.arri.com/en/technical-service/extended-warranty-and-service-contracts/camera-systems/productregistration>

## B. 新機能

### 新収録フォーマット ProRes 3.8K 16:9

この収録フォーマットは、16:9 4K UHD 解像度 (3840×2160)が要求され、スフィリカルレンズで撮影する作品に適しています。従来は ARRIRAW でのみ使用可能でしたが、4K UHD の要件を満たしつつ、可能な限り低いデータレートで ProRes ファイルを収録できます。

また、このフォーマットは 4.6K 3:2 Open Gate、4.6K 16:9、4K 16:9 等よりもセンサーエリアが小さいため、数多くのスーパー35mm フォーマットレンズでカバーできます。

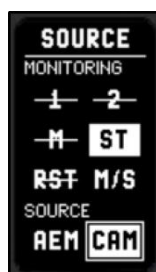


### AEM-1 で出力と再生のモニタリング

AEM-1 を広くご運用いただく上で、出力モニタリングの要望を多くいただきました。ALEXA 35 SUP 1.3.0 と AEM-1 V1.1G では、モニタリングソースを“CAM”に設定することで、カメラに入力され収録される音声をモニタリングできるようになりました。

また、カメラでプレイバックを行う際に、再生された音声を AEM-1 のヘッドフォンジャックからモニタリングできるようになりました。

これらの機能を使用するには、AEM-1 のソフトウェアを、近日中に ARRI のウェブサイトで開催される V1.1G にアップデートする必要があります。



### ダイナミックメタデータの改善

ARRI MXF ライブラリを含むほとんどのソフトウェア実装では、fps やシャッター開角度にスタティックメタデータを使用していたため、ダイナミックメタデータの非標準的な値がマスクされていました。SUP 1.3.0 以降では、fps やシャッター開角度がダイナミックメタデータに正確に反映されるようになりました。

## WiFi の改善

以前のソフトウェアアップデートにおいて、WiFi パフォーマンスに関するご報告をいただきました。ソフトウェアを詳細に検討した結果、パフォーマンスの向上と安定性を改善した、最新のソフトウェアスタックを実装しました。

## ENG スタイルレンズへのレンズユーザボタンの追加

Lens Buttons メニューが、従来の“Lens Ret”ユーザボタンに代わり、複数のユーザボタンが搭載された ENG スタイルレンズに対応するようになりました。これらのレンズからはどのユーザボタンが利用可能であるかを検出できないため、インジケータには ENG レンズが装着されていること、すべてのボタンが利用可能であると表示されます。

ボタンには以下の機能を割り当てることができます。

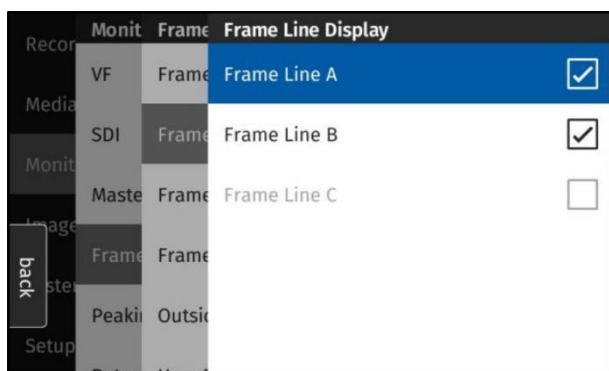
Lens RET1、Lens RET2、Lens RET3、Lens RET4、Lens ENG、Lens PROD、Lens VTR

Setup	User Butt	Lens Buttons
		Lens RET1 Return In 1
User Butt	Monitor U	Lens RET2 Return In 2
Metadata	Hand Uni	Lens RET3 Off
Lens & EC	LBUS Dev	Lens RET4 Off
Info	GPIO Use	Lens ENG Talk (Eng)
Alerts	Lens Butt	Lens PROD Talk (Prod)

## EBU R095 フレームライン

16:9 センサーモードのデフォルトフレームラインリストに、EBU R095 フレームラインが追加されました。xml ファイル内には、フレームライン A と B という 2 つのセーフエリアが含まれています。Multicam では、フレームラインの設定から、どのセーフエリアを表示するか (A、B、A+B) を自由に選択できます。

アクションセーフエリアは画像の上下左右 3.5%、グラフィックセーフエリアは 5%となっています。





## C. バグフィックスと安定性の向上

このアップデートには、下記のバグフィックスが含まれています (些末なバグフィックスは割愛します)。

- Hi-5 と再接続した際に、Master Grip のオーバーライド設定が失われる問題を解消しました。
- フレームライン A/B/C それぞれにおいて、スケールファクターの設定や、フレームラインのスクイーズ/デスクイーズが個別に行えるようになりました。
- Webremote の Rec/Info で、カメラインデックスが誤って表示される問題を解消しました。
- LDS から LDA テーブルに切り替えた際に、アイリスのリミットが変更される問題を解消しました。
- MVF-2 OLED の最初の 2 行にフリッカーが発生される問題を解消しました。
- 再生中に収録が始まった場合でも、ECS デバイスで収録の開始/停止を制御できるようになりました。
- 両チャンネルが "Internal Mic L" に設定されている場合、ヘッドフォンに音声が出力されない問題を解消しました。
- シャッター速度やフレームレートを変更した際に、温度警告が誤って表示される問題を解消しました。
- Open Gate センサーモードで、Return In 映像が正しく表示されない問題を解消しました。
- 収録中に電源を喪失した場合の復旧が改善されました。
- サイドディスプレイのバックライトが、スリープ状態になって 3 秒後に消灯するようになりました (以前は 40 秒後)。

## D. 既知の問題 (ソフトウェア)

### アクセサリ

- **Camera Control App で FPS Preset が使用できない**

現在、Camera Control App では“FPS Preset”のフレームレートは設定できません。

- **Hi-5 から Enhanced Sensitivity を設定できない**

現在、Hi-5 から Enhanced Sensitivity の数値を選択することはできません。ES モードを使用する場合、ユーザボタン、ビューファインダー、Web Remote のいずれかで選択してください。

- **一部の/i レンズ装着時に WCU-4 が再起動を繰り返す**

一部の Cooke /i プロトコルを使用するレンズを装着すると、WCU-4 が再起動を繰り返すことがあります。レンズマウントを無効にし、LDA テーブルを使用してください。

- **CAM 経由での RIA-1 アップデート**

ALEXA 35 と RIA-1 の CAM コネクタを接続した状態で、カメラからアップデートを行うと失敗することがあります。この場合、LBUS で接続してください。

- **Hi-5 でアサインされたユーザボタンのラベルが表示されない**

Hi-5 では、ハンドユニットユーザボタンに機能をアサインしてもラベルが表示されません。表示上は“Off”となっておりますが、機能は問題なく動作します。

### レンズ

- **一部の/i レンズのレンズスケール表示に問題がある**

Cooke /i プロトコルを使用する一部のレンズで、レンズスケールが表示されなかったり、正しく表示されないことがあります。これらのレンズを使用する場合、LDA テーブルを用意してください。

### モニタリング

- **ProRes 3K 1:1 フォーマットの出力**

ProRes 3K 1:1 収録フォーマットは 422 3G HD SDI 出力をサポートしていません。422 1.5G か 444 3G を使用してください。

- **マスターマグニフィケーション使用時、サラウンドビューにフレームラインが表示されることがある**

マスターマグニフィケーションとサラウンドビューを組み合わせると、サラウンドビューに表示されないはずのフレームラインが表示されることがあります。

- **外部 LUT によりオーバーレイの彩度が低下する**

外部モニタリングデバイスに適用された LUT により、カメラオーバーレイの彩度が低下し、STBY と REC の表示が区別しづらくなることがあります。MENU > MONITORING > SDI > SDI 1 PROCESSING > OVERLAYS > OVERLAY BRIGHTNESS からオーバーレイの輝度を下げること、この問題が軽減されます。

- **MVF-2 OLED の映像がマゼンタに変色する**

まれに、MVF-2 OLED の映像がマゼンタに変色することがあります。SDI 出力や収録映像には影響しません。

- **EI の反応が遅れることがある**

MVF-2 のホイールで EI を操作した際に、カメラの反応が遅れることがあります。調整を誤らないよう、慎重に操作してください。

- **セットアップファイルをロードしてもマスターマグニフィケーションが有効にならない**

セットアップファイルをロードすると、センサーモードのみ変更されます。マスターマグニフィケーションを適用するには、セットアップファイルを再度ロードしてください。

- **Multicam Look は使用できない**

Multicam Look は SUP 2.0.0 の機能であり、Look メニューには表示されているものの現段階では使用できません。手動で削除してください。

## 再生

- **再生映像が小さい**

マグニフィケーションやサラウンドビューを使用していると、収録やスタンバイ時のものよりも小さい映像が表示されることがあります。

- **Hi-5 または ZMU-4 接続時のプレイバックモード**

カメラに Hi-5 (SUP 問わず) または ZMU-4 が接続されている時に、何らかの方法で収録を開始することでプレイバックモードを抜けると、カメラが収録を開始できない状態になります。この場合、カメラを再起動してください。

MVF-2 の再生ボタンを長押しするか、Hi-5 の "back" を押してプレイバックモードを抜けた場合、このエラーは発生しません。このバグは今後の SUP で解消される予定です。

- **再生時のオーディオレベル**

オーディオ付きのクリップを再生すると、MVF-2 のヘッドフォン出力は、ライブ/収録時よりも 3dB 小さくなります。

- **CAP 経由でのクリップへのアクセス**

CAP 経由で再生をする場合、メディア内でアクセスできるクリップは 270 に制限されます。それ以降のクリップを再生したい場合、再度ディスプレイを使用してください。

- **再生モード終了後、カメラが反応しなくなる**

ユーザボタンで Check last clip または Playback を選択し、再生モードを終了した後、カメラが入力に反応しなくなることがあります。カメラは最大 4 秒後に元の状態に戻ります。

- **MVF-2 と CCM-1 を併用すると、再生ができないことがある**

3.3K/3K/2.7K 収録モードで MVF-2 と CCM-1 を併用すると、CCM-1 には再生映像が表示されません。SDI と MVF-2 の再生や、収録には影響ありません。CCM-1 で従来通りの再生映像を表示したい場合、SUP 1.2.3 にダウングレードしてください。

## リモートコントロール

- **WiFi 経由での Web Remote 接続が不安定になる**

Windows 以外のマシンで Web Remote 機能を使うと問題が発生することがあります。'alexa35-xxxxx.local'の代わりに、IP のアドレスを使って接続してください。

- **再生中に収録を開始すると同期ズレが発生する**

TC IN または SYNC IN で複数のカメラが同期している状態で、いずれかのカメラが再生中に収録を開始した場合、そのカメラに 1 フレーム分の同期ズレが発生します。すべてのカメラがスタンバイ状態であることを確認してから収録を開始してください。

- **CAP 使用時に Texture を変更できてしまう**

Camera Access Protocol (CAP)を使用している場合、ARRIRAW の収録中でも Texture 変更が可能になっています。この場合、クリップが破損します。

- **ユーザボタンでしかプリレコーディングをオフにできない**

プリレコーディングを無効にするには、その機能がアサインされたユーザボタンを押すしかありません。アサインされたデバイスが手元がない場合、収録を開始し、メディアをカメラから引き抜いてください。収録の失敗に伴い、プリレコーディングが無効化されます。

- **ZMU-4 経由でカメラに接続した OCU-1 はオーバーライドを終了できない**

OCU-1 や Master Grip と ZMU-4 を組み合わせて使用する場合、一部の状況ではオーバーライド機能を使用できません。

- ワイヤレスコントロールユニットは、オーバーライドをサポートしていません。そのため、OCU-1 や Master Grip をクライアントモードで ZMU-4 に接続した場合、オーバーライド機能は使用できません。
- 現在、ALEXA Mini や Mini LF に OCU-1 や Master Grip が有線接続されている状態では、ZMU-4 カメラにリモート接続しても、オーバーライド機能は使用できません。

ZMU-4 を CAM to EXT ケーブルのみでカメラに接続するか、対応する軸を OCU-1 でのみ制御するように設定する (Hi-5 の Menu > Control Setup で該当する軸を無効化する)ことで、この症状を回避できます。

## アップデート

- **Codex Drive のアップデートはできない**

SUP 1.3.0 では Codex Compact Drive ファームウェアのアップデートはできません。アップデートが必要な場合、SUP 1.2.3 をご利用ください。この問題は今後の SUP で修正される予定です。

## ユーザビリティ

- **CCM-1 のメニューを閉じると MVF-2 のメニューが開く**

CCM-1 と MVF-2 を併用している際に、CCM-1 でメニューを閉じると、MVF-2 のメニューが開きます。

- **プリレコーディング時間が変更できない**

プリレコーディングの最大時間は 5 秒に設定されており、変更できません。プリレコーディングユーザボタンは問題なく機能します。この問題は今後の SUP で修正される予定です。

- **レンズユーザボタンの Multicam 機能は使用できない**

レンズユーザボタンにデフォルトで設定されている機能は Multicam 用のものであり、現段階では使用できません。必要に応じて、ボタンのアサインを変更してください。

## E. 既知の問題 (ハードウェア)

- **BNC コネクタの脱落**

一部の ALEXA 35 では、BNC ケーブルを誤った角度で取り外そうとすると、BNC コネクタが脱落するおそれがあります。破損を防ぐためには、できるだけコネクタをまっすぐ引き抜いてください。この問題は、S/N 62000 ~ 62400 の機体でのみ発生します。

脱落したコネクタは、購入者、レンタルハウス、ディーラ、ARRI サービスセンターで交換可能です。万が一のために、コネクタの交換品を ARRI に無償で依頼することができます。以下の URL から、コネクタの交換方法を確認してください。

<https://arri.academy/SE-replacing-bnc-connectors-alexa35>

## F. アップデート手順

### ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法

ソフトウェア・アップデート・パッケージのダウンロードセクション (以下の URL)から SUP ファイルをダウンロードすることができます。USB スティックを用いて、下記の方法で SUP をカメラにインストールしてください。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/software-and-firmware-updates-for-cameras>

### カメラのアップデート方法

ALEXA 35 のソフトウェア・バージョンアップは USB スティックを使って行います。ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)はカメラ本体と、カメラに接続されているビューファインダー (MVF-2)、レンズマウントをアップデートします。

Camera Control Monitor CCM-1 はカメラとは独立したソフトウェアを採用しているため、カメラの前に CCM-1 をアップデートしてください。

アップデートは MVF-2 または Web Remote で行えます。Web Remote を使用する場合、WiFi またはイーサネットを経由 (要 ALEXA Ethernet/RJ-45 Cable KC-153-S, K2.72021.0)してカメラに接続し、ウェブブラウザで <http://alexa35-xxxxx.local> (xxxxx はカメラのシリアルナンバー)にアクセスします。Web Remote の詳細についてはユーザマニュアルをご覧ください。

1. ダウンロードしたファイル (\*.zip)を解凍し、2 種類のアップデートファイル (\*.SWU と \*.lic)を展開します。
2. USB スティックを exFAT ファイルシステムでフォーマットします。
3. USB スティックを ALEXA 35 に接続して、MVF-2 のカメラメニューから MENU > Media > Prepare USB medium を選択し、CONFIRM を押すことで、USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
4. コンピュータに USB スティックを接続し、ARRI/ALEXA35/SUP のフォルダーに \*.SWU ファイルを配置します。同様に、ARRI/ALEXA35/LICENSES フォルダーに \*.lic ファイルを配置します。
5. SUP にはカメラボディだけではなく、ビューファインダー MVF-2 や LPL レンズマウント用のアップデートファイルが含まれています。そのため、アップデートを行うときは、MVF-2、LPL レンズマウントをカメラに装着してください。
6. アップデート中に電源が切れないよう、カメラを可能なら安定電源、またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
7. Menu > Setup > Factory Reset...からファクトリーリセットを行います。
8. USB スティックをカメラに接続し、MENU > System > Update Camera...を選択します。
9. リストから適切な SUP ファイルを選択し、ジョグホイールを押します。
10. メッセージが表示されたら INSTALL を押し、インストールを準備します。
11. CONFIRM を押し、インストールを開始します。
12. アップデート状況を示すスクリーンがカメラに表示されます。カメラが再起動するまでオフにしたり電源を取り外さないでください。
13. アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。アップデートは最大 20 分ほどかかることがあります。
14. 再度ステップ 8~13 を行ってください。
15. Menu > System > System Time & Date で正しいタイムゾーンを選択してください。
16. アップデート時にカメラに MVF-2、LPL レンズマウントが接続されていなかった場合、それらのデバイス用のソフトウェアがカメラに保存されます。これらのデバイスが次にカメラに接続されたときにソフトウェアが古けれ

ば、カメラがアップデートを推奨します。

稀に、アップデートの阻害や失敗、重大なカメラエラーが発生した場合、MVF-2 が反応せず、カメラが正常な映像を出力しなくなることがあります。この場合、サイドディスプレイで WiFi を ON にし、Web Remote 経由で再度アップデートしてください。

本件に関するお問い合わせ：

※ 製品の仕様、外観は予告なしに変更することがあります ※消費税は、資産譲渡時の税率を適用し加算されます



株式会社 **ナック** イメージテクノロジー  
制作営業部 ダイヤルイン：03-3796-7901  
<https://www.nacinc.jp>

ISO 9001 認証取得

本 社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-11-3 : 03-3796-7900  
大 阪 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-2-1 : 06-6359-8110  
名古屋 〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-8-10 : 052-733-7955